

## ネズミ防除仕様書

生息種、生息場所、侵入経路、これらによる被害の状況等の調査を行い、その結果に基づき防除方法、作業計画を決定し管理をおこないます。

## 1.調査方法

調査方法	調査内容
①トラップ調査	ネズミの種類、生息状況を調査する為ネズミ用粘着トラップ、RFトラップ(※1)等を設置し、捕獲する。
②聞き取り調査	各施設の利用者から目撃の有無や、被害状況、糞、鳴き声を聞き取る。
③目視調査	ネズミの糞、ラットサイン(ネズミの足跡)、侵入箇所、登巣場所等を調査する。
④環境調査	餌の供給源の管理状況、潜伏・登巣場所となるダンボールやゴミの管理状況、構造上の防鼠機能を調べ、改善提案を行う。
⑤実食調査	無毒餌を生息可能な場所に設置し、生息の有無、生息数調査する。

## 2.調査範囲、場所及び頻回(※1)

調査範囲、場所	調査方法	頻回
事務室 天井裏・フリーアクセス・各種パイプスペース	①②③④⑤	半年以内に1回
飲食施設 厨房内什器裏・天井裏・パイプスペース	①②③④⑤	2ヶ月以内に1回(※2)
共用 天井裏・パイプスペース・機械室・塵芥処理室・駐車場・外周	①②③④⑤	

## 3.報告書及び作業計画書の作成

調査の結果を分析し、侵入箇所・生息状況報告書及び改善提案書を作成し、必要な環境改善提案・防除方法や薬剤散布箇所等を検討の上、作業計画書を作成。

## 4.防除作業

調査の結果に基づき、薬剤は厚生労働省認可の医薬品、医薬部外品を用法、用量、使用上の注意に従って使用します。また、薬剤を使用する場合は、使用方法、注意事項などを事前に施設管理者に通知致します。

処置方法	処理・使用資機材	使用薬剤(主なもの)	摘要
①捕獲法	粘着トラップ RFトラップ		別途見積
②駆除法	バイトボックス 毒餌皿	タマリシ系 ジフエチアズロール	
③超音波遮断法	ネコのささやき		別途見積
④侵入遮断処置(簡易)	金網・防鼠パテ等資材		※3

## 5.効果判定

防除作業終了後の効果判定に基づき、効果が認められない場合はその原因を再度調査し、以後の作業計画の策定を再検討し、必要に応じて再度防除作業を行います。※4

## 6.緊急対応

防除作業、機械器具その他の設備の維持管理に係る苦情及び緊急連絡に対し迅速に対応いたします。

## 7.その他

ネズミ防除に当たり、当社ベストコントロール技術者が長年の経験と研究による高度な技術を用いて防除管理に当たっておりますが、環境整備状況によっては防除及び駆除が困難な場合があります。日頃より什器備品の整理、腐材・残葉の処理、清掃等のご協力をお願いいたします。

※1:管理対象物件の築年数・立地条件等により、調査場所は変更になります。

※2:東京都にあっては毎月1回で指導している。その他の地域は、各地方自治体の指導がある場合にはそれに従う。

※3:(別途見積)ネズミの発生の原因が建物本体にある場合や、室内内装に大規模な建築構造の手直しが必要な場合、大規模な防鼠工事が必要となります。この場合別途細部を調査して提案申し上げます。

※4:厚生労働省環境衛生局長通知(環企第28号)の建築物環境衛生管理要領 第5の2

※本仕様書は弊社の標準仕様書であり、物件の用途・ネズミの発生状況により、適宜変更して作業にあたります。

## ゴキブリ防除仕様書

生息場所、侵入経路等の調査を行い、その結果に基づき防除方法、作業計画を策定し管理をおこないます。

## 1. 調査方法

調査方法	調査内容
①トラップ調査	ローチトラップを潜伏が考えられる箇所周辺に設置し、生息の有無を確認する。
②聞き取り調査	各施設の利用者から目撃の有無や、被害状況を聞き取る。
③目視調査	虫体、糞、卵鞘等(ローチスボット)などの証拠を調査する。
④環境調査	餌となる食材や、潜伏場所となるダンボールやゴミの管理状況を調べ、改善提案を行う。

## 2. 調査範囲、場所及び周期

調査範囲、場所	調査方法	周期
事務室 休憩室・更衣室・茶番間・自動販売機・給茶器・冷蔵庫・植木鉢	①②③④	半年以内に1回
飲食施設 ガスレンジ・調理台・流し台・冷蔵庫・食品棚・食品庫・壁の隙間	①②③④	2ヶ月以内に1回(※1)
共用 各排水槽・粗排器・廃棄物処理及び保管施設・他ゴキブリが発生しやすい箇所	①③④	

## 3. 報告書及び作業計画書の作成

調査の結果を分析し、生息状況報告書及び改善提案書を作成し、必要な環境改善提案・防除方法や薬剤散布箇所等を検討の上、作業計画書を作成する。

## 4. 防除作業

調査の結果に基づき、薬剤は厚生労働省認可の医薬品、医薬部外品を用法、用量、使用上の注意に従い使用します。また、薬剤を使用する場合は使用殺虫剤名、使用方法、注意事項などを事前に施設管理者に通知致します。

処理方法	処理機材	使用薬剤(主なもの)	概要
残留噴霧	全自動噴霧器(B&G)	フェニトロチオン クロルピリホスメチル プロペダシホス	ゴキブリが潜む場所、及び周辺を重点的に処理する。 薬剤抵抗性の発現・発生の状況により、適宜薬剤を検討し、使用します。
超微粒子噴霧	ULV機	ピレスロイド系殺虫剤	
ドライ処理	炭酸ガス製剤	シフェノリン	
局所微粒子噴霧	マイクロガン	ピレスロイド系殺虫剤 有機リン系殺虫剤	
ベイト処理	ベイトガン	ヒドロメチルノン ホウ酸	
トラッピング	ローチトラップ	各種ローチトラップ	

## 5. 効果判定

防除作業終了後の効果判定に基づき、効果が認められない場合はその原因を再度調査し、以後の作業計画の策定を再検討し、必要に応じて再度防除作業を行います。※2

## 6. 緊急対応

防除作業、機械器具その他の設備の維持管理に係る苦情及び緊急連絡に対し迅速に対応いたします。

## 7. その他

ゴキブリ防除に当たり、当社ベストコントロール技術者が長年の経験と研究による高度な技術を用いて防除管理に当たっておりますが、環境整備状況によっては防除及び駆除が困難な場合があります。日頃より什器備品の整理、廃材・残棄の処理、清掃等のご協力をお願いいたします。

※1:東京都においては毎月1回で指導している。その他の地域は、各地方自治体の指導がある場合にはそれに従う。

※2:厚生労働省環境衛生局長通知(環企第28号)の建築物環境衛生管理要領 第6の2

※:本仕様書は弊社の標準仕様書であり、物件の用途・害虫の発生状況により適宜変更して作業にあたります。

## チカイエカ・チョウバエ防除仕様書

発生場所・生息場所・侵入経路等の調査を行い、その結果に基づき防除方法、作業計画を策定し管理をこなします。

## 1.調査方法

調査方法	調査内容
①トラップ調査	成虫調査として捕虫機、捕虫トラップ等を設置し、発生の有無を確認する。
②聞き取り調査	各施設の使用者から目撃の有無や、被害状況を聞き取る。
③目視調査	成虫の飛翔虫体、水場の幼虫の有無。
④環境調査	水槽内の溜溜状況、停滞水の量・有無等の状況を調べ、改善提案を行う。

## 2.調査範囲、場所及び周期

調査範囲、場所	調査方法	周期
事務室 植木鉢・室内空間	①②③	半年以内に1回
飲食施設 グリストラップ・床面の停滞水	①②③④	2ヶ月以内に1回(※1)
共用 各排水槽・排水弁・側溝・その他溜まり水	①③④	

## 3.報告書及び作業計画書の作成

調査の結果を分析し、生息状況報告書及び改善提案書を作成し、必要な環境改善提案・防除方法や薬剤散布箇所等を検討の上、作業計画書を提出。

## 4.防除作業

調査の結果に基づき、薬剤は厚生労働省認可の医薬品、医薬部外品を用法、用量、使用上の注意に従い使用します。また、薬剤を使用する場合は使用殺虫剤名、使用方法、注意事項などを事前に施設管理者に通知致します。

処理方法	処理機材	使用薬剤(主なもの)	摘要
残留噴霧	全自動噴霧器(B&G)	フェニトロキソン クロルピリホスメチル プロペタシホス ピリプロキシフェン	幼虫対策として水槽内に使用。
超微粒子噴霧	ULV機	ピレスロイド系殺虫剤	水槽内に成虫が発生していた場合、成虫殺虫を行う。
ドライ処理	炭酸ガス製剤	ジフェントリン	
蒸散法		ジクロルボス樹脂蒸散剤	水槽内に吊す(密閉された空間のみ)

## 5.効果判定

防除作業終了後の効果判定に基づき、効果が認められない場合はその原因を再度調査し、以後の作業計画の策定を再検討し、必要に応じて再度防除作業を行います。※2

## 6.緊急対応

防除作業、機械器具その他の設備の維持管理に係る苦情及び緊急連絡に対し迅速に対応いたします。

## 7.その他

防除に当たり、当社ベストコントロール技術者が長年の経験と研究による高度な技術を用いて防除管理に当たっておりますが、環境整備状況によっては防除及び駆除が困難な場合があります。日頃より什器備品の整理、廃材・残菜の処理、各種水槽及びグリストラップ等の清掃のご協力をお願いいたします。

※1:東京都においては毎月1回で指導している。その他の地域は、各地方自治体の指導がある場合にはそれに従う。

※2:厚生労働省環境衛生局長通知(環企第28号)の建築物環境衛生管理要領 第5の2

※3:本仕様書は弊社の標準仕様書であり、物件の用途・害虫の発生状況により適宜変更して作業にあたります。

1875